

横浜市精神障害者生活支援センター指定管理者選定委員会（第6回）

議事要旨

議 題	応募団体に対する面接審査（1団体） 指定候補者及び次点候補者の選定、審査総評のまとめ
日 時	平成23年11月25日（金）17時30分から19時00分まで
開 催 場 所	横浜市庁舎7階 7A会議室
出 席 者	【委員】 伊東委員、米倉委員、深澤委員、塩崎委員、上甲委員 【事務局】 森障害支援課長、古川係長、藤井係長、森職員、市川職員、原口職員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開
傍聴者（定員）	1名（5名）
議 事	<p>1 配布資料説明</p> <p>事務局から、「採点表」及び採点方法について、各委員に説明した。</p> <p>2 応募団体（特定非営利活動法人さらプロジェクト）のプレゼンテーション及び委員からのヒアリング</p> <p>（主なヒアリング内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中区の地域特性をどのように把握しているのか。 ・ 中区の生活支援センターへ応募した理由はどのようなものか。 ・ 生活支援センターについて、どのような印象を持っているのか。 ・ 生活支援センターにおいても、就労移行支援に力を入れたいと考えているのか。 ・ 生活支援を行うにあたり、これまでどのような機関と連携を取ってきたのか。 ・ 法人の方針としては、高齢者支援と障害者支援のどちらに比重を置くのか。 ・ 障がい者制度改革推進会議における協議のうち、精神障害に係る内容について、どのように把握しているのか。 ・ こころの健康政策構想実現会議100万人署名推進運動について、どのように考えているのか。 ・ 施設運営管理における体制作りについて、今後の見通しはどのようなものか。 <p>3 採点表確定に向けた意見交換</p> <p>（主な意見）</p> <p>（総論）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上位2団体についての判断が極めて難しい。いずれも特徴があり、単一の指針だけでは到底判断できず、総合的に判断することになろうかと思う。 ・ 財務状況について見ると、NPO法人（中区生活支援センター指定管理者共同事業体を結成する「新」「ろばと野草の会」の2法人及び「さらプロジェクト」）としては、いずれの団体も健全であると判断できる。財団法人紫雲会は、近年の病棟建替への影響もあり、債務が多額であるが、健全な経営状況である。中区生活支援センター指定管理者共同事業体の代表団体である社会福祉法人みはらしについては、新設であるため評価は難しいが、すでに地域活動ホームの運営主体として法人設立の認可があるため、特に問題はないと判断される。 <p>（中区生活支援センター指定管理者共同事業体の応募提案に対して）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規の事業が多いためやむをえないが、提案内容はやや抽象的であり、具体性に欠ける。

- ・ 地域の実情を認識しながら活動されており、目指すべき方向・考え方は共感できる。
- ・ 意欲的かつ斬新な事業提案であった。実現に向けて応援したい気持ちになる。
- ・ 現在の生活支援センターや地域活動ホームに対する不足点を補う具体的な提案があった。
- ・ 相談支援が重要であるとはっきり認識し、様々な工夫をしていることが良く分かる。
- ・ 地域活動ホームの資源を活用することが前提になっていることがあり、今回の公募の範囲を超えているようにも思える。

(財団法人紫雲会の応募提案に対して)

- ・ 実績に基づく提案であり、実現に対する安心感がある。
- ・ 精神保健医療分野での実績は高く評価できる。
- ・ アウトリーチの試みも提案されており、単なる実績のみをアピールしたものではない。
- ・ 医療につながっていない方へのアウトリーチ活動は、今後、是非重視してほしい。
- ・ すでに地域活動ホームとの合築で生活支援センターを運営しているが、連携に関しては、中区の経緯を踏まえると物足りない印象もある。
- ・ 開所までに1年以上の期間があるため、地域特性の理解を深めると共に、地域活動ホームと十分な話し合いを行って協力体制の構築に努めてほしい。
- ・ 上記の趣旨で、まずは、すぐにでもできる具体的なこと（地域活動ホームとの情報共有の場、共同事例研究の場をつくるなど）からはじめて、それを定期的に継続してほしい。

(特定非営利活動法人さらプロジェクトの応募提案に対して)

- ・ 活動内容は、横浜市内の法人には見られないものもあり、目新しさを感じた。
- ・ 人材育成に力をいれているところに頼もしさを感じた。
- ・ 中区の現状把握に際して、直接足を運ぶなどの行動があっても良かった。
- ・ 就労支援は重要な事業であるが、退院促進や自立支援に関しても実効性のある提案がほしかった。

4 指定候補者及び次点候補者の選定

各委員より評価基準項目による採点を行い、得点の高い順に応募団体の順位をつけた。

各委員の採点結果ごとに、応募団体の得点をつけた。(1位の団体に1点、3位の団体は3点。)

得点を委員全員について集計した結果、最も得点が低かった財団法人紫雲会を指定候補者に、次に低かった中区生活支援センター指定管理者共同事業体を次点候補者に選定した。

5 審査総評意見交換

審査総評については「3 採点表確定に向けた意見交換」で出た意見を事務局で集約することとした。